

# OITA WOMAN ROLEMODEL

大分県で働く女性ロールモデルたち

大分県女性活躍プログラム

## Gateway

すべての道はここからはじまる

### 女性として、母として 新たな視点で環境改革

株式会社井上酒造

かわむら みき

蔵人 川村 樹さん

日田市出身。平成27年(2015年)に入社し、蔵人(くらびと)として清酒造りの修業をスタート。昨年結婚・出産をし、産休を経て仕事に復帰。現在は焼酎造りの担当として、新たな知識と技術を習得中。

株式会社井上酒造

所在地 日田市大肥2220-1

主な事業内容 清酒・焼酎・リキュールの製造販売

従業員数 14名(男性6名/女性8名)※パート含む

「楽しい仕事があった」と  
飛び込んだ酒造りの世界

創業は文化元年(1804年)。200年以上もの歴史を紡いできた『井上酒造』では、伝統を重んじながらも革新的な取り組みを続けています。7代目で大分県唯一の清酒の女性杜氏(とうじ)、井上百合社長が手掛けた『百台仕込み』は、酒蔵の知名度を強固なものにしました。

酒造りの現場は男性が多く、女性の造り手が少ないのが現状。そんな業界に飛び込み、蔵人として働く川村樹さんは、前職を退職後、仕事を探していたときに見つけたのが井上酒造の求人でした。「お酒は飲むのも好きだし、酒造りって楽しそうな仕事だと思って」と応募したそうですが、男性中心の世界だと理解したうえでのことだったといえます。そんな樹さんの予想は見事的中。井上社長も「樹さん」という名前だけを見て男性だと思い込んでいたそうで、その表情を見て樹さんは、「男性が来ると思ってたよなね!?それを承知で面接に来ました!」と一言。その熱意と、人としての魅力に惹かれたという井上社長は、彼女を蔵人として迎えることを即決したそうです。

「感覚」を見える化して  
酒造りがしやすい環境に

入社後は清酒部門に配属され、福岡県と熊本県にある酒蔵でそれぞれ修業をして自社でも工程を覚える日々が続きました。「1年目は手順を覚え、2年目は工程や作業の意図を捉える。自分で考えて動けるようになったのは3年目です」と振り返ります。仕事を覚えるために欠かせなかったのが、細かくメモを取ることに。酒造りは、外気温、室温、季節、湿度など、その日によって調整が必要。蔵人の長年の感覚に頼る部分も多かったため、マニュアルは存在しませんでした。樹さんが自分のためにと書きつづけた大量のメモには、これまで文字にできなかった感覚的なものが具現化されています。今はこのメモを、社員で共有できるように工程ごとに分けたファイルに。酒蔵にとつての毎年のデータまで蓄積された秘蔵ともいえるマニュアルは、大切に受け継がれていく財産になりました。

樹さんの入社によって、井上社長がかなえたかった「道具の見直し」も実行できました。大量製造をしていたため道具はどれも大きく、女性が扱うには重いものばかり。男性の仕事というイメージは、ここにもあったのかもしれませんが、女性でも持てるサイズの道具に変え、片づける位置も定位置に。現場の整理整頓まで実現した結果、作業効率も上がったそうです。

母になって改めて感じる  
「酒造りは子育てみたい」

同じ職場の川村真人(まこと)さんと結婚し、娘を出産して職場復帰した樹さんは、井上社長が常々口にしていた「酒造りは子育てみたいで楽しい!」という言葉を実感している最中です。「私の場合は酒造りに携わったのが先でしたから、娘を見てると『酒母(しゅぼ)みたいだな』って思います」と笑顔を見せます。酒母とは日本酒の出来を左右する酵母のこと。昼夜を問わず成長していく酒母はひとときも目が離せず、子どもの成長と似ているといいます。

作り手こそ少ないものの、全体では社員の約半数が女性。



↑同じ蔵人のご主人・真人さんと一緒に、現在は焼酎造りに励んでいる川村樹さん。抜群のチームワークで、井上酒造にしか造れないオリジナリティーを追求している



「男性もみなさんやさしくて、子どもや孫を持つ女性も多い。社長が女性ということもあってか、相談も気軽にできます」と樹さんはこれまで、女性という理由でマイナスを感じたことは一度もないと話します。産休・育休を経て復帰している女性が多いことから、働きやすい職場であるとわかります。清酒から焼酎造りへ部署が変わり、井上酒造のスペシャリストとしてさらに技術を磨く彼女。伝統継承を大切にしながらも、変わることを恐れない新しい視点で驚かせてくれそうです。



代表取締役社長  
井上 百合さん

樹さんは社員というより同志。女性が少なかった酒造りの現場に彼女が入ってくれて、とても心強いです。「良いものを作りたい」という思いを持っていて、はつきり意見してくれるところも頼もしいですね!

## My way わが社の取り組み

課題	方法	成果
酒造りは男性中心で女性には厳しい環境	道具や環境を見直しマニュアルで見える化	社員が「環境改善」を意識し作業効率もアップ
伝統や歴史を伝承してきた結果、酒造りの中心は男性に。作業には力仕事も多く、これまで女性蔵人も少なかったことから、男性目線の環境だった。	職人の感覚に頼っていた酒造りをマニュアル化。昔ながらの大きくて重い道具を小さく軽い道具に変え、力のない女性でも使いやすいものに。	働きやすい環境に向けて社員全員が「改革」の意識を持つようになり、小さなアイデアの積み重ねで職場環境が改善。作業効率も上がった。



入社してくれてありがとう!ここで出会った人と家族になってくれたのもうれしい!

それぞれへ感謝のメッセージ  
Message

採用してくれてありがとうございます!焼酎造りも一人前になれるようがんばります!



### 大分県インフォメーション

大分県女性活躍プログラム  
**Gate way**

～すべての道はここからはじまる～

知ること、進むこと。さあ、その先のGATEを開こう!

「Gate way」では、大分県の女性活躍推進に関するすべての情報を集めるとともに、自社を診断し改善する、企業の成長につながる方法をわかりやすくまとめました。女性活躍に取り組む企業も紹介します。



詳しくはこちら!

大分県ロールモデル PICK UP

大分県の女性たちにも知ってもらいたい!!  
女性が輝くおおいたアクションプラン2022

お問合せ

大分県消費生活・男女共同参画プラザ  
TEL.097-534-4034